



ここで用いている面積は特に明記のない場合は延べ面積を使用しています。実際のおすまいと金額を比較する際の目安として下さい。ここに掲載されている画像等の無断転載はご遠慮下さい。

～雨漏りがしたら（住まいながら改修できる工事）～

○**屋根の軽量化**・・・屋根の葺き土を降ろしたり、屋根材自体を軽くする工事です



瓦の下に葺き土があり、瓦も経年劣化でもろくなり割れたり欠けたりしています。



葺き土を降ろして新しい屋根材にします。



これで軽量化の完成です。外観がきれいになり、耐震にも効果があります。

**参考工事金額 屋根面積 100 m<sup>2</sup> 約 180 万円～**

○**屋根構面の強化**・・・屋根の下地を丈夫な板にする工事です



瓦の葺き土が一面に載っています。これを降ろすだけでも軽量化になります。



屋根の下地を調べてみれば、こんな構造になっています。



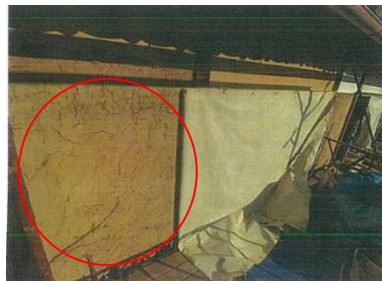
構造用合板で見えないところも頑丈に。この上に屋根材を葺きます。

**参考工事金額 屋根面積 100 m<sup>2</sup> 約 4,000 ～ 5,000 円/m<sup>2</sup>(高さ調整込み)**

○**外壁の劣化の修繕**・・・傷んだ外壁を修繕，リニューアルをする工事です



風雨にさらされ、外壁の杉皮がぼろぼろになっています。劣化した杉皮の張り替えを行います。



杉皮をはがすと小壁にひび割れ・めくれが。中塗りまで落として塗り替え、外壁を仕上げます。



修繕した外壁が雨や風から建物を守ります。

**参考工事金額** 50 m<sup>2</sup> 約 25 万円 ～ 100 m<sup>2</sup> 50 万円

**組合せ参考工事金額** 50 m<sup>2</sup> 約 140 万円 ～ 100 m<sup>2</sup> 280 万円

(参考セット:屋根の軽量化+屋根構面の強化+外壁の劣化の修繕)  
20万円 10万円 5万円

**助成額合計**  
最大 **35 万円**

※平成 24 年 10 月から平成 25 年 7 月までのまちな匠申請建物(50 m<sup>2</sup>～100 m<sup>2</sup>)から平均工事金額を算出しています。  
※工事金額はあくまで参考とお考えください。立地条件、施工業者、材料、工法、時期などで、金額が変わります。